第11講・生産と労働

資本主義経済の仕組み

ポイント1　生産と企業

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 生産に関わる組織

私たちの身の回りのものはどのように生産されるか

↓

企業：財やサービスの多くを生産する組織

利益（利潤）を得ることが目的の私企業と

└ 売上から費用を差し引いた残り

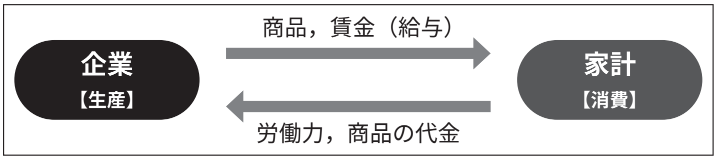
国や地方公共団体が運営する公共目的の公企業がある

技術革新（イノベーション）：企業が新しい生産方法などを取り入れることで起こる変革

資料1　技術革新の例（電気自動車）

② 企業と家計の関係

資本主義経済：企業などによる利益の追求を目的に営まれる経済の仕組み



ポイント2 生産の仕組み

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 生産と資源

企業はさまざまな資源を使って生産を行う

↓

さまざまな資源

資本：資金，工場，機械，道具，原材料など

土地：工場や店を建てる場所

労働力：実際に働く人々

② 資源の配分

希少性：求める量に対して財・サービスの量が足りない状態

↓

企業の得意分野を生かしつつ，消費者の欲求を多く満たす資源の組み合わせを **資源の効率的な配分** という

分業：役割を分担して生産すること

生産性の向上につながる

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 財やサービスの多くを生産する組織のことを何というか。　企業

(2) 売上から費用を差し引いた残りを何というか。　利益（利潤）

(3) 企業が新しい生産方法などを取り入れることで起こる変革を何というか。　技術革新（イノベーション）

(4) 企業などによる利益の追求を目的に営まれる経済の仕組みのことを何というか。　資本主義経済

(5) 役割分担をして一つの商品を生産することを何というか。　分業

(6) 求める量に対して，財・サービスの量が足りない状態にある商品を,「【　　】性が高い」という。【　　】に入る言葉は何か。　希少

(7) 企業の得意分野を生かしつつ，消費者の欲求を多く満たす資源の組み合わせを，資源の【　　】な配分という。【　　】に入る言葉は何か。　効率的